

# 蒲郡市新体育館検討会議報告書

平成29年1月

蒲郡市新体育館検討会議

はじめに

蒲郡市体育館は、昭和43年に建設され、すでに48年の月日が流れました。この間、競技スポーツから生涯スポーツまで多様なスポーツの活動拠点となり、またトレーニング室、各種会議室も備え、様々な教室を開催するなど各種団体の交流の場としても利用されてきました。

このように、市民から愛されてきた体育館ですが、アリーナには空調設備が設置されておらず、武道館やテニスコート利用者と共有する駐車場は駐車可能台数が不足するなど、ニーズに十分に対応できない状況にあり、市民の皆さんからも施設の充実を望む声が多く寄せられてきました。また、躯体や設備は老朽化が進んでおり、平成26年度に実施した耐震診断の結果では、耐震性能を満たしていないことも判ったため、市において建替えを行う判断がされました。

蒲郡市新体育館検討会議には、立場の異なる委員が、それぞれ様々な観点から新しい体育館について考えるために集まりました。会議は平成28年8月6日から11月19日まで5回にわたり開催され、その間、私たち委員は、現体育館の現状・問題点を把握するとともに、新しい体育館の建設場所や規模、機能について様々な議論を重ねてきました。

この報告書は検討会議の議論の成果として、意見をとりまとめたものです。

平成29年1月

蒲郡市新体育館検討会議  
会長 榎尾 英広

## 目 次

第1章	これまでの経緯と現状把握	1
1	市による建替え検討の経緯	1
2	新体育館検討会議の設置	2
3	現体育館の現状	3
4	検討にあたっての情報共有	4
第2章	建設場所の検討	5
1	建設場所の提案	5
2	提案された場所への意見	5
3	建設場所に関する意見の取りまとめ	11
第3章	新体育館の規模・機能の検討	13
1	新体育館の規模・機能に関する意見のとりまとめ	13
	資料、添付資料	17~22

## 第1章 これまでの経緯と現状把握

### 1 市による建替え検討の経緯

市の大型教育施設である体育館、市民会館、図書館の3施設はいずれも昭和40年代に建設されており、老朽化が進んでいることから、平成25年度から市の関係部署において、施設の今後についての検討が始まりました。

平成26年度には、施設更新の緊急性や優先度を把握するために下記施設の耐震診断を実施しました。

- ・ 体育センター アリーナ
- ・ 体育センター 武道館
- ・ 市民会館 大ホール
- ・ 市民会館 中ホール
- ・ 図書館 増築前部分
- ・ 図書館 増築後

耐震診断の結果は表1の通りとなり、体育センターのアリーナ部分の耐震性能が著しく劣っていることが判明しました。

#### 言葉の定義

体育館センター	施設全体（アリーナ、管理棟、武道館、第1弓道場、第2弓道場、相撲場、テニスコート）を指す。
体育館	アリーナ、管理棟を指す。
管理棟	事務所、会議室、トレーニングジムのある建物を指す。

なお、「アリーナ」とは現体育館では競技場と呼ばれている部分ですが、本報告書では一般的な呼び方であるアリーナと表記することとします。



表1【耐震診断結果 平成26年度実施】

建物名（建設年）	耐震診断指標値の最小値（Is値）
体育センターアリーナ（S43）	0.32（ステージ部分0.22）
体育センター武道館（S55）	0.55
市民会館大ホール（S48）	0.54
市民会館中ホール（S48）	0.63
図書館（増築前部分）（S44）	0.51
図書館（増築部分）（S59）	0.64

震度6強～7の地震に対して、  
 Is値0.6以上（耐震性能有）…倒壊、又は崩壊する危険性が低い  
 Is値0.3以上0.6未満…倒壊、又は崩壊する危険性がある  
 Is値0.3未満…倒壊、又は崩壊する危険性が高い

アリーナを含む体育館は昭和43年建設で大型教育施設の中では最も古く老朽化が進んでいること、また特殊な建物形状のため耐震補強工事には多額の費用を要することを踏まえると最初に建て替えを行う必要があると判断し、建設地の検討を開始しました。

平成27年度には、市有地であること、駐車場の確保ができること、交通アクセスが良好であることなどからポートレース蒲郡南東駐車場を建設候補地としました。また、2,000人を対象に新体育館整備に関するアンケート調査を実施し850人から回答を得ました。

## 2 新体育館検討会議の設置

これまで、新体育館の建設については、市の関係部署において検討されてきましたが、新体育館は、市民の皆さんが今後何十年と利用する施設であるため、建設にあたってはより多くの意見を参考にすべきであると判断し、平成28年度に新体育館検討会議（本会議）を設置し建設場所や施設の規模・機能について検討することになりました。

- ・委員の構成 《資料1参照》
- ・検討会議の日程 《資料2参照》





## 4 検討にあたっての情報共有

### (1) アンケート調査について

平成27年10月に実施したアンケート調査について事務局から説明が行われました。

本アンケートは、現体育館の現状や新体育館へのニーズを把握し、建替えの検討や今後の計画策定の参考とするため実施され、850人から回答を得ました。

主なアンケート結果《資料3参照》

- ・現体育館では、駐車場不足を不便な点と感じている方が3割強いた。
- ・新体育館の利用においては、ジムやヨガ・エクササイズなど個人又は教室形式で行う運動を望む方が多い。
- ・新体育館には広い駐車場を望むと答えた方が最も多かった。
- ・アリーナの規模は、現アリーナの規模の同等かそれ以上を望んでいる。  
など

### (2) 現体育館の現状についての意見交換

現体育館の現状や課題について情報を共有するため、各委員が現体育館に対し感じていることについて意見交換を行いました。また、現体育館を視察し、設備や諸室の状態を確認しました。

【委員の意見の主なもの】

- ・駐車場が少なく、1台分の区画も狭い。すぐに満車になってしまう。
- ・臨時駐車場は分かりにくく使いづらい。
- ・大型バスを止める場所がない。
- ・アリーナに空調がなく、大会等を快適な環境のもとで開催できない。
- ・更衣室・ロッカーの場所が分かりにくくあまり使われていない。
- ・建物・設備の老朽化が激しく、アリーナも雨漏りしている。
- ・会議室は、ヨガやダンス等の教室で利用する頻度も高くなってきている。
- ・観客席は1,313席あり、同規模のアリーナと比べ多いが、満席になることはほとんどない。
- ・車いすが観客席に入れないなどバリアフリー対応が不十分である。
- ・建築物としてデザインはとてもよい。
- ・2階の観客席に直接入ることができるのは便利。

## 第2章 建設場所の検討

### 1 建設場所の提案

検討会議では、新体育館建設場所の検討にあたり、アンケート結果や、現体育館の現状を踏まえて幅広く意見交換を行いました。市が候補地としてあげていた場所にとらわれず、体育館建設にふさわしい場所について意見交換を行い各委員から次の場所が提案されました。

【委員からの提案により検討することとした9つの場所】《別添 1・2 参照》

- ①-1 現体育センター敷地内（現体育館解体後、新体育館建設）
- ①-2 現体育センター敷地内（新体育館建設後、現体育館解体）
- ② ボートレース蒲郡南東駐車場
- ③ 浜町仮設ソフトボール場、浜町グラウンド
- ④ 市民会館駐車場
- ⑤ 竹島ベイパーク
- ⑥ 海陽多目的広場北側隣接地
- ⑦ 学校統廃合跡地
- ⑧ 竹谷地区（大久古池南）
- ⑨ 西迫地区（愛知工科大学北側）

### 2 提案された場所への意見

提案された建設場所について会議の中で話し合われた内容や意見について建設場所ごとにまとめました。

#### ①-1 現体育センター敷地内（現体育館解体後、新体育館建設）

《想定》

現体育館を解体し、その跡地に新体育館を建設することを想定。

《検討会議での意見》

- ・現体育館解体から新体育館完成まで3年間程度、市営体育館が存在しなくなってしまう。他施設へ代替が出来るレベルでは無い。
- ・建設期間中、大会や利用者の行き場がなくなり、スポーツ振興という点で考えても非常に大きな支障が出る。

- 敷地が狭いので、立体駐車場の建設が必要となる。

## ①-2 現体育センター敷地内（新体育館建設後、現体育館解体）

### 《想定》

現体育館を使用しながら、隣接するテニスコート及び駐車場付近に新体育館を建設し、その後現体育館を解体することを想定。

### 《検討会議での意見》

- 現体育館を残したまま新体育館の建設は可能。ここに建設できるなら、別の場所に建てる必要は無い。
- 地震の際、液状化や津波浸水の心配はなく、避難所としても適地である。
- テニスコート付近に建設すると、住宅に隣接するため、騒音、眺望、陰地等の問題が生じる。また、完成後は体育館と武道館が分離されるため、管理者を武道館と体育館の両方に配置しなければならない。
  - ⇒ 駐車場側なら上記の問題は軽減される。
- どちらにしても敷地が狭く、レイアウトに制限が出てしまう。
- 他に広い場所があるのに、どうしてわざわざ狭い場所に建てなければいけないのか。
- 現在の車両出入口が新体育館で塞がれ、使えなくなる。北側の細い出入口を通ることになり、使いづらい体育館になってしまう。
- 駐車場の必要台数としては、武道館・弓道場・テニスコートとの共有であることを考慮すると、少なくとも300台程度確保したい。
- 建設期間中、駐車場が著しく不足することになり、大会の中止など、利用制限が必要となる場合もありえる。
- 大型バスの駐車スペースや転回場所が確保できない。
- 駐車場がないのは体育館がないのと同じことだ。
  - ⇒ 建設期間中は周辺の臨時駐車場を活用すればよい。
  - ⇒ 臨時駐車場を使っても足りず運営に支障がでる。
  - ⇒ 臨時駐車場は各所に点在し場所が分かりにくい。
- 中央小の南側芝生部分を駐車場として利用すれば、かなり台数が稼げる。
  - ⇒ この場所は、平成30年度にPTAからのご寄付で遊具を整備する計画があるため、駐車場として使うことはできない。

- テニスコートを潰したとしても完成後も駐車場は不足する。立体駐車場が必須となるため建設費が増加する。ボートレース場の立体駐車場は316台収容で建設費は5億円以上である。
- テニスコート（夜間照明付き）の代替場所を考える必要がある。
- 建設の工程としては、①仮の管理事務所へ移設、②テニスコートと現管理棟の一部の解体、③テニスコート廃止に伴う代替措置の対応、④新アリーナの建設、⑤現アリーナと現管理棟の取り壊し、⑥サブアリーナと新諸室の建設、⑦立体駐車場の建設、が考えられる。更地で建設するより複雑で長期化し、コストアップにもなる。
- 傍が通学路になっている。建設期間中、中央小児童への安全等配慮が必要。

## ② ボートレース蒲郡南東駐車場

《想定》

ボートレース蒲郡南東駐車場に新体育館を建設することを想定。

《検討会議での意見》

- 隣接するボートレース場の駐車場も使えるため、十分な駐車台数を確保することができる。
- 更地なので、建物配置の自由度が高い。使いやすい体育館が建てられる。
- 近隣に住宅が無いため、騒音、眺望等の周辺環境への影響がなく、円滑な建設が可能である。
- 交通アクセスのよい場所である。蒲郡駅ー現体育館より、三河塩津駅ーボートレース蒲郡南東駐車場のほうが短距離になるが、経路の一部に歩道が狭い箇所がある。
- 塩津駅から体育館までの経路の整備を考えて欲しい。
- 津波浸水予想地域ではないが想定外も想定する必要があるのではないか。

《蒲郡市ハザードマップの津波浸水予想地域についての解説》

津波浸水予想地域は、南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち発生したことが明らかで規模の大きいもの（宝永、安政東海、安政南海、昭和東南海、昭和南海の5地震）を重ね合わせたモデルである「過去地震最大モデル」のほかに、「命を守る」という観点で、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波についても、補足的

に想定することとした「理論上最大モデル」についても考慮している。  
これはあらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波を想定し、  
千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低いものである。

- 被災時に避難所として機能するのか。

⇒大規模災害時に想定される避難者数は約14,000人で、それに対し現在指定されている避難所の収容人数は14,325人である。現体育館は避難所に含んでいない。避難所は、主に小中学校、保育園といった地域施設に指定している。

⇒現体育館は緊急物資の一時保管場所に指定されている。新体育館は建設地が決まったら、どのような役割を与えるのか検討することになる。  
なお、ボートレース場の横の道路は、第一次緊急輸送道路に指定されており、物資の輸送道路として使用できる。

- 地震の際、液状化する可能性が高い場所である。

⇒第一次緊急輸送道路が近接しており、被災時に道路が損傷しても優先的に修復される場所である。

- 高潮については、台風の勢力、コースによるので事前に対応することができる。
- 子どもの安全を考えるとボートレース場の近くに建てることは避けて欲しい。
- ボートレース場の客と体育館利用者が接近する心配がある。三河塩津駅からボートレース蒲郡南東駐車場までの動線を分けるなどの配慮が必要。警備をしっかりともらいたい。
- 自転車盗、空き巣等の治安面も心配である。

### ③ 浜町仮設ソフトボール場、浜町グラウンド

《想定》

浜町仮設ソフトボール場または浜町グラウンド付近に新体育館を建設することを想定。

《検討会議での意見》

- 屋外スポーツ施設が多いエリアであり、ここに体育館が出来れば総合的なスポーツ施設となる。

- ・周囲が津波浸水予想地域である。
- ・ここは、下水処理場の第2次、第3次処理用地として確保されている土地であり、体育館を建設するのに適さない。

#### ④ 市民会館駐車場

《想定》

市民会館駐車場に新体育館を建設することを想定。

《検討会議での意見》

- ・市の中心部にあり、交通アクセスはとてもよい。
- ・駅から近いことから、県大会、三河大会などでの活用も期待できる。
- ・敷地は津波浸水予想地域である。
- ・周辺住民への影響が大きい。(騒音、日照、眺望、電波障害)
- ・市民会館、博物館が隣接するため駐車場が足りない。博物館西側に立体駐車場を建設するだけでなく、新体育館自体も1階部分を駐車場にする必要がある。建設費のアップにつながる。
- ・市民会館や博物館とイベントが重なれば南側道路が渋滞する可能性が高い。
- ・駐車場が不足した場合、アピタに駐車してしまう人が増えるのではないか。

#### ⑤ 竹島ベイパーク

《想定》

竹島ベイパークのグラウンドゴルフ場付近に新体育館を建設することを想定。

《検討会議での意見》

- ・市の中心部にあり、交通アクセスはよい。
- ・海から近すぎる。防災面が心配である。
- ・竹島や水族館も近いので体育館より観光地としての土地利用を考えてもらいたい。
- ・三河港ポータルネッサンス21計画、蒲郡INNERハーバー計画といった市の計画のある場所であり、計画の変更等が可能か不透明。

#### ⑥ 海陽多目的広場北側隣接地

《想定》

海陽多目的広場北側の敷地に新体育館を建設することを想定。

《検討会議での意見》

- 敷地が広く、多くの駐車場を確保可能。
- 海陽多目的広場と隣接して建設すれば総合的なスポーツ施設となる。
- ここは、市有地ではなく県企業庁所有の土地である為、用地の取得から始める必要がある。
- ラグーナ蒲郡地区まちづくり開発コンセプトにおいて、商業地域と位置づけられている場所であり体育館建設に適さない。
- 蒲郡の東端に位置し、西浦、形原地区からのアクセスが悪い。

#### ⑦ 学校統廃合跡地

《想定》

小中学校統廃合のタイミングで跡地に新体育館を建設する想定。

《検討会議での意見》

- 学校の統廃合について、現時点で具体的に検討されているものはない。統廃合と絡めて考えると、建て替えのタイミングを逸することになる。

#### ⑧ 竹谷地区（大久古池南付近）

《想定》

大久古池の南側、県道 323 号の東側付近に新体育館を建設する想定。

《検討会議での意見》

- 民有地、土地所有者が多く用地取得に難がある。

#### ⑨ 西迫地区（愛知工科大学北側）

《想定》

愛知工科大学北側の山林に新体育館を建設する想定。

《検討会議での意見》

- 民有地、土地所有者が多く用地取得に難がある。また、周辺道路が狭い。

### 3 建設場所に関する意見の取りまとめ

検討会議最終日には、これまで建設場所として議論をしてきた中から建設実現性の高い次の3箇所を選定し、魅力あるスポーツ施設にするためにはどの場所がふさわしいのか、さらに検討を行いました。《資料4参照》

- ①-2「現体育センター敷地内（新体育館建設後、現体育館解体）」
- ②「ボートレース蒲郡南東駐車場」
- ④「市民会館駐車場」

出席委員8名で検討を進める中で、④「市民会館駐車場」については、建設費の増加となってしまうが、立体駐車場の建設や、体育館1階を駐車場にするなどして駐車場を必要台数確保できたとしても、北側に位置する住宅への騒音や眺望の悪化は避けられず、これが建設に大きな影響を与える可能性が懸念されたため、検討からはずすこととなり、残った、①-2「現体育センター敷地内（新体育館建設後、現体育館解体）」と②「ボートレース蒲郡南東駐車場」について、更に深く検討を行った結果、次のような意見に集約されました。

①-2「現体育センター敷地内（新体育館建設後、現体育館解体）」は、敷地が狭く施設配置に制限が出る、建設期間の長期化、駐車場不足、建設費の増加、車両出入口の確保、夜間照明付きテニスコートの代替場所の検討が必要となるなど課題は多いものの、

- ・これまで体育館として市民に慣れ親しんだ場所である。
- ・防災面、治安面で心配が少ない。
- ・今の場所に建設できるならば、他の場所に建設する必要はない。
- ・駐車場は臨時駐車場を活用する。
- ・武道館や弓道場と同一敷地内で利用ができ便利。

といった点から、3人の委員が建設地として適している場所である、となりました。なお、最終日の欠席委員3人に確認したところ1人の方も当該地を適地とする意思表示をされたことから、全委員11人のうち4人が当該地を適地とする結果となりました。

②「ボートレース蒲郡南東駐車場」は、地震発生時の液状化や治安面を心配

する意見がありました。

- 十分な駐車場を確保することができる。
- 建物配置の自由度が高い。
- 近隣に住宅がないため騒音、眺望等に問題がない。
- 狭い場所に無理して建てる必要は無く、広い場所に使いやすい体育館を建てるべき。
- 液状化が発生した場合でも、建物は問題ないこと。また、津波浸水予想地域にはなっていないこと。更に、ポートレース場西沿いの県道は第一次緊急輸送道路に指定されており、優先的に復旧される道であり心配はない。
- 治安面では、ポートレースの客と体育館利用者とは駅からの徒歩ルート上で重ならないこと、利用時間帯も異なること。更に、周辺は警備員の巡回が行われており、他の地域と比べて犯罪件数等が多い地区ではなく、治安面で特に心配ない。

といった点から、5人の委員が建設地として適している場所である、となりました。なお、最終日の欠席委員3人に確認したところ2人の方も当該地を適地とする意思表示をされたことから、全委員11人のうち7人が当該地を適地とする結果となりました。

会議の中では、①-2「現体育センター敷地内（新体育館建設後、現体育館解体）」と②「ポートレース蒲郡南東駐車場」が最後まで議論されましたが、防災面、治安面を心配する委員は現体育センター敷地内を選び、駐車場の広さや建設のしやすさを重視する委員は、利用しやすい広い場所ということでポートレース蒲郡南東駐車場を選ぶ傾向が見られました。

意見集約の最終結果としては、7対4で「ポートレース蒲郡南東駐車場」を推す委員が多かったものの、委員の立場によって新体育館建設場所に求めるものが違っていることも判りました。検討会議としては、それぞれの意見を尊重すべきと考え、どちらか1箇所を決めるということはせず、2箇所を検討の結果として報告することを全員一致で決定いたしました。

### 第3章 新体育館の規模・機能の検討

#### 1 新体育館の規模・機能に関する意見の取りまとめ

建設場所が決定していない中で、新しい体育館の規模・機能を考えるのは難しいことではありますが、現体育館の状況やアンケート結果、視察を行ったエナジーサポートアリーナ「犬山市体育館」の規模・機能も参考にしながら、これからの蒲郡市にふさわしい体育館の規模や機能について検討を行い以下項目別に意見を取りまとめました。

##### (1) メインアリーナ

###### (フロア)

- ・現体育館は、バレー2面だが、もう少し広くして、バレー3面取れるとよい。
- ・フットサル禁止の体育館が多い中、現体育館では利用が出来る。手軽に出来るスポーツなので新しい体育館でも利用できるようにして欲しい。
- ・空調は絶対に必要。

###### (ステージ)

- ・現体育館にはステージがあるが、これは非常に珍しい。しかし、本来の使用は行われておらず、大会の際の本部席などで年数回利用されているのみ。本部席は別に設ければよいので、新体育館にステージはなくてもよい。

###### (観客席)

- ・観客席は現在1,313席ある。建設場所が決まらなると新体育館の規模が想像できないが、適切な規模を検討してもらいたい。
- ・可動式観客席をつけるのであれば、その費用を回収できるような大会やイベントを開催してもらいたい。
- ・短時間の観覧者やカメラ撮影等も考慮し立ち見のスペースもあるとよい。また、車椅子やベビーカーでの観覧も考慮する必要がある。
- ・観客席の周囲にランニングコースを設けている体育館もあるが、観客との交錯や使用条件等の制約もあるため、ニーズを把握した上で検討されたい。

##### (2) サブアリーナ

- ・現在のメインアリーナは10人以上の団体で全面又は半面を使用することが条件であり、少人数グループで利用するにはハードルが高い。低料金で

気軽に利用できる小さなアリーナの需要は多い。

- サブアリーナがあれば、メインアリーナの予約の競合が減少し、大会の開催日程が組みやすくなる。
- 大会時のウォーミングアップ場として利用できる。
- ニュースポーツでの利用も期待する。
- サブアリーナの規模としてはバスケットボールコート1面ほどの規模があると良い。

### (3) 駐車場

- 現在は105台しかなく1台の枠も狭い。臨時駐車場は点在して判り難く、とにかく使いづらい。
- 駐車場の心配をせず来場できるようにして欲しい。
- 大型バスの駐車場も必要。現在は駐車場がないため、浜町でバスを待機させている。

### (4) 諸室

#### (トレーニング室)

- 現在のトレーニング室は専門器具が多く、初めての人が入りづらい。
- アンケートではジム(トレーニング室)の利用のニーズが非常に高かったため、軽運動機器を充実させるなど老若男女が気軽に利用できるトレーニング室にして欲しい。
- 運用面では民間企業の活用を含めて、検討して欲しい。

#### (会議室)

- 現在の体育館では会議室6つと和室1つがあり、スポーツ団体の会議のほかヨガ教室等に利用されているが、比較的空いている。
- パーテーションで仕切り、部屋の大きさを可変にすることで、全体のスペースを減らしつつ、効率的に利用できるのではないかと。

#### (エクササイズスタジオ)

- アンケート結果にもあるようにヨガ・エクササイズ(エアロビクス、フラダンス、ピラティス、健康体操など)が出来る環境を新体育館に求める声が多い。
- エクササイズスタジオはグループでのダンス練習のほか、エアロビクス、ヨガなど教室での利用が見込まれる。

- ・鏡のあるスタジオで、パーティションによって広さも調整できる仕組みだと無駄が出ず、良い。

#### (更衣室・ロッカー・シャワールーム)

- ・現体育館の更衣室等は場所がわかりづらく、あまり利用されていない。
- ・更衣室等は、受付・アリーナ・トレーニング室・スタジオ等の配置の中で利用者の動線を考慮して、利用しやすい場所に設置していただきたい。

#### (キッズコーナー・託児室)

- ・親に連れられて競技を観覧に来た子どもが、飽きてしまったときに時間をつぶせる場所があるといい。
- ・託児室については専用の部屋を用意したとしても需要が少ないのではないか。赤ちゃんの駅（オムツ換えや授乳できる場所）があればよいと思う。
- ・託児が必要な場合は、大会主催者等が会議室などを借りて託児室の代用とすればよいと思う。

#### (利用団体用倉庫)

- ・体育協会加盟団体のイベントや教室で使用する備品の保管場所が必要。現在は、保管場所が点在しており、管理上好ましくない。
- ・新体育館では、専用の倉庫を設けて、有料で貸し出すなど検討してはどうか。

#### (食堂・喫茶店・休憩スペース)

- ・食堂や喫茶店は体育館利用者だけではなく、周辺環境を見込んで検討する必要があり、建設場所が決まっていない状況では考えにくい。
- ・食事等はコンビニ等で買って持ち込む人が多いため食事や休憩ができるスペースは必要。

#### (5) その他

- ・高齢者や車椅子、ベビーカーへの配慮も欲しい。バリアフリーに対応した構造とし、エレベーターや多目的トイレの設置も必要。
- ・利用しやすさを考えると利用者と観客の動線は分けるような造りにするほうがよい。
- ・体育館シューズへの履き替えについては、現在はアリーナの入口で行うルールだが、体育館シューズのままトイレに行ったり、休憩スペース、観客席に立ち入る人が多い。他の体育館では館内土足禁止のところもある。利

用者の自主性に任せるだけでなく、内と外の線引きをしっかりと行い、運用を徹底して欲しい。

- 空調に関しては、アリーナや諸室だけでなく、通路、ロビー、休憩スペースなどはどうするか。費用がかかることなので無駄に効かせていてももったいないが、休憩している場所なのに暑すぎ寒すぎは避けないといけない。
- 分煙の観点からも、喫煙ルームを設置する必要がある。
- テーピンググッズや救急用品、ラインテープ等の消耗品の販売があるとよい。
- 器具については軽量で運びやすく、床を傷めないものにして欲しい。

## 新体育館検討会議委員の構成

		氏 名		住 所
1	蒲郡市体育協会	山内憲治	男	港町
2	蒲郡市体育協会	樫尾英広	男	形原町
3	スポーツ推進委員会	横田倉伸	男	豊岡町
4	総代連合会	牧野満文	男	鹿島町
5	中小体連	中瀬康博	男	大塚町
6	小中学校 PTA 連絡協議会	平松咲子	女	大塚町
7	蒲郡市子ども会連絡協議会	小林浩子	女	大塚町
8	保育園父母の会連絡協議会	鈴木佑宇子	女	柏原町
9	公募	松浦正道	男	竹谷町
10	公募	竹内亜美	女	大塚町
11	公募	金原紀昌	男	中央本町

## 検討会議の日程

日 程		場 所	主な検討事項	参加 人数
第1回	平成28年 8月6日(土) 9時30分～	蒲郡市民体育セン ター 第5会議室	I これまでの検討の経過 について II アンケート結果につい て III 建設場所の検討 IV 現体育館の視察	9名
第2回	9月17日(土) 9時30分～	生命の海科学館 メディアホール	建設場所についての議論	10名
第3回	10月10日(月) 12時30分～	犬山市	エナジーサポートアリー ナ「犬山市体育館」視察 (7/9 オープン)	8名
第4回	10月29日(土) 9時30分～	生命の海科学館 メディアホール	I 建設場所についての議 論 II 魅力ある体育館にする ために	10名
第5回	11月19日(土) 9時30分～	生命の海科学館 メディアホール	I 建設場所についての議 論 II 魅力ある体育館にする ために	8名

## 主なアンケート結果

(調査名 新体育館整備に関するアンケート調査)

- 1 調査の方法 (1)調査対象者 蒲郡にお住まいの方から無作為抽出で2,000人  
 (2)調査方法 郵送により調査票を送付  
 (3)調査実施期間 平成27年9月29日～10月13日  
 (4)回収方法 平成27年10月13日(火)までに返信用封筒に入れて郵便ポストへ投函
- 2 調査回収数 (1)調査送付数 2,000通  
 (2)回収数 850通  
 (3)回収率 42.5%

### 3 アンケート項目【抜粋】

性別

選択肢	集計	%
男	388	45.6%
女	449	52.8%
無効回答	13	1.5%
総計	850	100.0%

年齢

選択肢	集計	%
10代	80	9.4%
20代	74	8.7%
30代	91	10.7%
40代	132	15.5%
50代	140	16.5%
60代	170	20.0%
70代以上	159	18.7%
無効回答	4	0.5%
総計	850	100.0%

新体育館では、何がしたいですか？

選択肢	集計	%
バスケットボール	23	2.7%
バレーボール	15	1.8%
バドミントン	33	3.9%
フットサル	14	1.6%
卓球	52	6.1%
体操	31	3.6%
ダンス	20	2.4%
パレエ	1	0.1%
ヨガ・エクササイズ	77	9.1%
インディアカ	0	0.0%
ランニング	18	2.1%
スポーツチャンバラ	6	0.7%
車椅子バスケットボール	3	0.4%
ジム	163	19.2%
スポーツクライミング	24	2.8%
演奏・軽音楽	17	2.0%
囲碁・将棋	8	0.9%
その他	88	10.4%
無効回答	257	30.2%
総計	850	100.0%

《現体育館を利用したことがある方のみに質問》

現在の体育館の問題点、不便な点は何ですか？

選択肢	最もあてはまるもの	
	集計	%
駐車場の不足	138	31.9%
アリーナの空調設備	49	11.3%
交通アクセス	22	5.1%
アリーナの規模	15	3.5%
運動可能な種目不足	24	5.6%
観客席不足	1	0.2%
開館時間	3	0.7%
問題点や不便な点はない	41	9.5%
その他	37	8.6%
無効回答	102	23.6%
総計	432	100.0%

新体育館には、どのような施設・機能が必要ですか？

選択肢	集計	%
広い駐車場	241	28.4%
会議室・研修室	9	1.1%
健康・体力相談室	53	6.2%
食堂・喫茶	55	6.5%
充実した自販機	23	2.7%
飲食スペース	24	2.8%
交流・休憩スペース	28	3.3%
キッズコーナー・プレイルーム	24	2.8%
アリーナの空調設備	89	10.5%
授乳室	2	0.2%
充実した観覧席	17	2.0%
その他	32	3.8%
無効回答	253	29.8%
総計	850	100.0%

新体育館のアリーナの規模は、どのくらいが最適だと思いますか？

選択肢	集計	%
現在の規模より小さい	13	1.5%
現在の規模と同等	349	41.1%
現在の規模より大きい	414	48.7%
無効回答	74	8.7%
総計	850	100.0%